

商売をしていれば様々なピンチに遭遇すると思います。

資金繰り、事故、病気、不祥事。そして、介護事業所なんかで多いのが突然の退職、病気といった人員不足。

様々なピンチに備え、経営者は常に最悪の状況を想定しておかなければいけません。

例えばの話。

「無理だ」と思いでしょうが、僕なんか、明日、スタッフ全員がいなくなって自分一人になった時でも、どうやって営業できるか？本気で真面目に考えたりします。

現実的に、無理かもしれませんが、例え一人になっても戦う。そんな意思と責任感がなければ経営者失格だと思います。

話しが少しそれました。常に最悪の状況を考える。だから少々のピンチでも慌てません。

ここで、大事なのは、ピンチだと考えても慌てない。焦らない。

リーダーが不安になってしまえば、ただでさえ不安をもつ部下の不安は更に増強してしまって、ますます負のスパイラル(ダメダメモード)に陥ってしまいます。

ピンチの時ほど悠々と。むしろ、いい時に社長は不安感を演出する。

そして、事に対する素早い決断。早い決断を下すことにより社員の不安を一掃させるのです。

社長の資質の一つに決断力は大事。ベストな決断でなくても、素早い決断は失敗してもリカバリーがきくのです。

まあ、こういう話しも経験者じゃないと中々理解してもらえませんが...

結論。まあ、人生なんとかなるもんです。以上！